

## 当院にて診断を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学水道橋病院矯正歯科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

### 1. 研究課題名

東京歯科大学水道橋病院矯正歯科への転院患者における現状と問題点

### 2. 研究目的

歯並びの状況によって個人差はありますが、矯正歯科治療は長期間にわたることが一般的です。そのために治療途中で転居や医院とのトラブルなどで転院を希望する患者様もおられます。また、転院後の医院で再度検査を行った結果、やむなく治療方針の変更に至り治療期間が延長した症例も報告されています。そして、矯正治療を一度終了された患者様でも再治療を目的に他院を受診する方もおられます。このように、転院患者様は新規来院患者様と比較して多くの問題を抱えておられます。

本研究では2009年から2019年の10年間に東京歯科大学水道橋病院矯正歯科に転院を目的に来院された患者様について調査することより、転院患者様の現状と問題点を把握し、病院歯科の役割を再考するとともに今後の取り組みについて検討することを目的とします。

### 3. 研究方法

調査の対象となるのは、2009年4月から2019年3月までに水道橋病院矯正歯科に転院を目的に新規来院された患者様です。

当科におけるコンピューター患者管理システムにて年度別新規転院患者数、性別来院状況、年齢別来院状況、来院経路、地域別来院状況、症例別来院状況（日本歯科医師会分類、不正咬合の分類）、治療段階、治療方針変更の有無を集計します。コンピューター患者管理システムは新患来院患者様の初診時の調査用紙、予診簿、診断等を元にデータベース化したものです。

### 4. 研究期間

本研究の研究期間は、2022年4月15日～2024年7月31日です。

### 5. 研究により得られた結果等の説明に関する方針

本研究より得られた結果は、学会発表をもって研究対象患者様への公開とします。

### 6. 個人情報等の取り扱い

本研究での個人情報の取り扱いについては連結対応表をつくることで匿名化を致します。対応表やその他の個人情報は情報管理者が鍵のかかる棚に責任をもって保管完了まで管理致します。情報は5年間講座内の鍵のかかる棚に保管し、保管終了後は情報管理責任者が廃棄致します。

## 7. 研究に関する情報公開の方法

本研究は日本矯正歯科学会にて発表、東京矯正歯科学会雑誌投稿を予定しております。その際、患者様が特定されるような情報は公開いたしません。

## 8. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

これまでの治療の中で使用した患者様の資料を使用いたしますので、当該研究によって患者様に何らかの負担が生じることはなく、今後の治療に対して何らかのリスクや不利益・利益も生じません。また、本研究へのご協力に対して謝金はございません。

## 9. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

## 10. 研究協力の撤回について

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

## 11. 費用等に関すること

本研究は講座研究費で行われます。患者様の費用負担はありません。また、利益相反は生じません。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学 水道橋病院歯科矯正学講座

研究責任者（試料・情報管理責任者）海老澤 朋宏

連絡先 03-6380-9240（東京歯科大学水道橋病院歯科矯正学講座医局）